

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第516号 平成30年7月・8月



『多摩の夕暮』 松原 貞一

目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	7) 新入会員紹介	黒澤毅文 … 14
2) 専門医に学ぶ	鈴木周平 … 5	8) 広報だより	松本 学 … 15
3) 学術講演会予定	学術部 … 6	9) 連載企画	奥村 充 … 16
4) 西多摩地域糖尿病医療連携検討会の取り組み		10) 理事会報告	広報部 … 17
	野本正嗣 … 7	11) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 20
5) 平成30年度西多摩医師会 定時社員総会 会長挨拶	玉木一弘 … 9	12) お知らせ	事務局 … 26
6) 平成30年度西多摩医師会 定時社員総会報告	総務部 … 14	13) あとがき	進藤幸雄 … 26
		14) 表紙のことば	松原貞一 … 27

<http://www.nishitama-med.or.jp/>

保健所だより

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2018年第15週～2018年第22週(4/9-6/3)の間に診断された感染症について、青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・奥多摩・檜原(以下「管内」)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- ・結核 10件 病型：肺結核 4名(うち2名は粟粒結核合併)、頸部リンパ節結核 1名、結核性胸膜炎 4名、無症状病原体保有者 1名。
年齢：20代1名、40代1名、50代1名、80代6名、90代1名。性別：男性7名、女性3名。

〈三類感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症 1件 無症状病原体保有者(O103VT 1) 40代男性

〈五類感染症〉

- ・百日咳 5件 年齢：1歳以上10歳未満1名、10代2名、30代1名、40代1名。性別：男性3名、女性2名。
ワクチン接種歴：1歳以上10歳未満 1人4回、10代1人4回 1人不明、30代不明、40代不明。
- ・梅毒 2件 : 20代女性 2名
- ・侵襲性肺炎球菌感染症 1件 : 1歳男児

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第15週	第16週	第17週	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週
		4/9～	4/16～	4/23～	4/30～	5/7～	5/14～	5/21～	5/28～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)	17	6	9		1		2	1
小児科	RSウイルス感染症		1				2		
	咽頭結膜熱	3	2	2	2	1	4	4	8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	20	31	12	32	26	24	19
	感染性胃腸炎	28	25	38	16	32	29	60	46
	水痘	2	1	1	1	1		1	1
	手足口病	1				1		6	3
	伝染性紅斑		1				1	3	
	突発性発しん	5	4	2	4	4	1	3	2
	ヘルパンギーナ								4
	流行性耳下腺炎	1	1			1			1
	不明発疹症								
眼科	川崎病								
	急性出血性結膜炎								
基幹病院	流行性角結膜炎								
	細菌性髄膜炎								
	無菌性髄膜炎					1			
	マイコプラズマ肺炎								
	クラミジア肺炎								
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)								
	インフルエンザ入院								
	合計	79	61	83	35	74	63	103	85

2. 都内で注目される定点把握対象疾患

- ・伝染性紅斑の報告数は例年と比べて高いレベルで推移しています。
- ・咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎は例年並みの発生状況ですが、一部の地域で報告数の増加が見られます。

「ムシムシする夏は食中毒にご注意！」

1. 食中毒の発生状況

平成 29 年の 1 年間に都内で発生した食中毒件数は 132 件・患者数 2,628 名¹⁾ で、患者数は過去 10 年間で最多でした。これは 2 月に発生した「きざみのり」による学校給食でのノロウイルス食中毒（患者数 1,193 名）が大きく影響しています。病因物質別には、細菌性食中毒カンピロバクター及び寄生虫アニサキスによるものが、各々 45 件（34%）ずつと多く、次いでノロウイルスによるものが 25 件（19%）で、前述の 3 種だけで全体の 9 割近くを占めています。【グラフ 1】

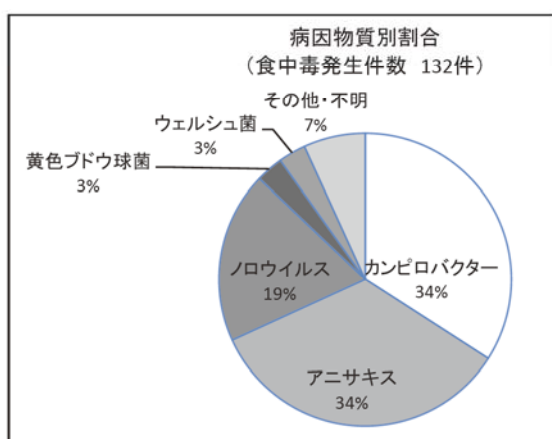
平成 29 年のカンピロバクターによる食中毒は初夏と秋に多く発生しましたが、通年で発生しています。また、飲食店で加熱用の鶏肉を生食メニューに使用していたことが判明しており、鳥刺し・鳥わさ・加熱不十分な焼き鳥などによる事例が多くありました。

一方で、アニサキスによる食中毒は、ほぼ 1 年中発生しており、サバ、イカだけでなく、カツオ、サケ、ヒラメなども原因食品となっています。管内では平成 30 年 5 月、アニサキスによる食中毒が発生しました。保健所は調査の結果、鰹の刺身（生）とアジたたき造りの刺身類による食中毒と断定して当該食品販売業者を営業停止処分とし、鰹は生で提供せずにマイナス 20 度以下で 24 時間以上中心部まで完全に冷凍するよう指導しました。

さらに、ノロウイルスは 11 月から 3 月までが多く、春以降は少なくなるものの通年発生する可能性があり、多くが調理従事者由来によるものと推定されました。

昨夏に関東地方を中心に多発した腸管出血性大腸菌感染症（O157）・食中毒事例では都在住の幼児が 1 名死亡しています。食中毒調査では、惣菜チェーン店や飲食店が提供した食品が原因とされましたが、各事例に共通する発生要因は明らかになっていません。また、惣菜チェーン店では、調理後の露出陳列された惣菜を消費者が容器にとりわけ・包装する販売形態でしたが、汚染経路との関係は明らかになりませんでした。本事例では、広域的な事例のスピーディーな情報共有の必要性などが課題として挙げられました。

なお、潜伏期間はカンピロバクターが 1～7 日、アニサキスが 2～8 時間、ノロウイルスは 24～48 時間、腸管出血性大腸菌感染症は多くが 3～5 日です。【表 1】



病因物質	潜伏期間
カンピロバクター	1～7日
アニサキス	2～8時間
ノロウイルス	24～48時間
腸管出血性大腸菌感染症	3～5日

【表 1】 食中毒病因物質別の潜伏期間

【グラフ 1】 平成 29 年度 東京都食中毒病因物質別の割合

2. 食品衛生管理の対策

昭和22年に制定された食品衛生法では、食品の安全性の確保のために公衆衛生の見地から食品、添加物、器具、容器包装等の規格基準を定め監視指導や検査、営業等について規定しています。その後、外食や中食の普及、生産から消費に至るフードチェーンの高度化・複雑化、さらには輸入食品の増大などで食をとりまく環境は大きく変化しました。これらの変化にも対応するため、今年6月に改正された食品衛生法の主なポイントは ①広域的食中毒への対策強化、②HACCP²⁾ (ハサップ) に沿った衛生管理の制度化、③営業許可制度の見直し、④健康被害の届出や自主回収報告制度の創設などです。

中でも HACCP は、あまり馴染みのない用語ですが、Hazard Analysis and Critical Control Point の略で、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因 (ハザード) を把握・分析した上で、全工程を管理・記録することで、製品の安全性を確保する衛生管理の手法です。食中毒などの食品事故防止や事故発生時の速やかな原因究明に役立つため、先進国を中心に義務化が進められています。今後、国内の中小規模事業等でも着実に取り組みを進めることが重要です。

3. 食品Gメン

食品Gメンこと食品衛生監視員は、食の安全を確保するため、全国の保健所や検疫所などで約7500人(平成23年度)が働いています。資格は獣医師や薬剤師や栄養士など様々で、東京都の場合、保健所(地域の監視)、都庁内の食品監視課・健康安全研究センター(広域監視)、築地市場や大田市場の市場衛生検査所(流通拠点監視)、などが勤務地です。保健所での仕事は、①飲食店等の営業施設の許可事務、②営業施設に対する監視と指導、③食中毒の調査、④食品の検査、⑤食品に関する苦情や相談への対応などがあります。

西多摩保健所では秋川地域センターも含めて、現在12名が勤務しています。

4. 食中毒発生時の対応

食中毒(疑い事例も含む)の探知は医師からの届出に限らず、患者や関連施設等からの通報など様々なルートがあります。探知保健所では、食品衛生監視員が管内の対象者、施設、医療機関等に対して調査を行います。管外に調査対象がある場合には、食品監視課を通じて関連自治体や保健所に調査依頼を行います。また、食品以外との関連が疑われる場合には医薬・感染症担当等と連携して対応しています。³⁾

医療機関の先生方が食中毒を疑われた場合、感染症法の届出疾患のように発生届に記入する必要はなく、保健所の食品衛生担当までご連絡ください。休日夜間でも東京都保健医療情報センター(TEL:03-5272-0303)で受付しています。食中毒の迅速な調査に、ご協力よろしくお願い致します。

【参考文献】

1. 『平成29年東京都食中毒発生状況(確定値)』食品衛生の窓 東京都食品監視課
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/tyuudoku/h29_kakutei.html
2. 『HACCP(ハサップ)』厚生労働省
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/haccp/index.html
3. 『食中毒対策』東京都感染症マニュアル2018 82頁 東京都感染症対策課
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryoo/kansen/kansen-manual_2018.files/general_remarks.pdf

専門医に学ぶ 第131回

公立阿伎留医療センター 乳腺外科 科長 鈴木 周平

【症例】96歳、女性

【主訴】左乳房皮膚陥凹

【既往歴】認知症、脳梗塞、心筋梗塞、大動脈弁閉鎖不全、高血圧症

【妊娠歴】3回妊娠、2回出産

【家族歴】母親および娘が乳癌

【現病歴】老人介護施設に入所中、入浴介助時に職員が左乳房皮膚のひきつれに気づき当院を受診。精査加療目的に当科受診となった。

【現症】身長148cm、体重72.2kg、血圧158/102mmHg、脈拍82回/分、体温36.2°C、左乳房C領域に皮膚の陥凹を認め、直径約3.5cmの腫瘤を触知した(図1)。両側腋窩および鎖骨上下のリンパ節には理学的に腫大は認めなかった。

【血液生化学検査】軽度の貧血を認めたが、腫瘍マーカーは全て正常範囲内であった。

【乳房超音波検査】左乳房C領域に直径4cmの辺縁不整、内部不均一な腫瘍が描出された(図2)。

【胸部CT検査】左乳房に皮膚に浸潤する腫瘍を認めた(図3)。腋窩リンパ節、鎖骨上下リンパ節に有意な腫大は認めなかった。

【問題】以上の所見より疑われる疾患は？

【診断】浸潤性乳管癌

【解説】わが国において乳癌罹患患者数が増加するに従い高齢者の乳癌罹患患者数も増加している。また高齢者では自覚症状が乏しく、皮膚所見や比較的大きな腫瘍に成長してから発見されることも少なくない。しかしながら高齢者乳癌ではリンパ節転移陰性率が高く、ホルモンレセプター陽

図1

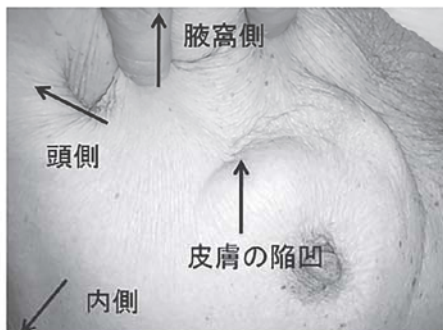
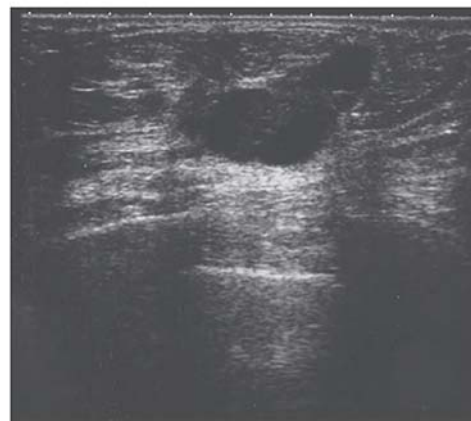


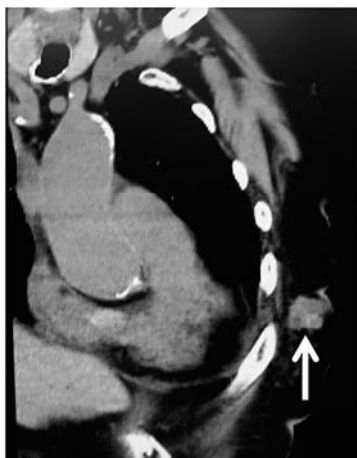
図2



(6)

No. 516

図3



性率が高く、生物学的悪性度は高くない事が多いという特性もわかっており、局所進行例であっても良好な予後をたどることも多い。これらの高齢者乳癌の特異性を考慮した治療法として乳房温存術式による局所治療と内分泌療法の有効性が証明されている。乳房温存療法は乳房切除と同等の生存予後が期待できるとの報告もあり、高齢者の生存予後に影響を及ぼす他病死や他癌死を考慮すれば侵襲の少ない乳房温存療法や内分泌療法は積極的に取り入れるべき治療法であると考えられる。

◇学術講演会予定

30.6.21

開催日	開始～終了 時間 開催時間	会 場	単 位 数	カリキュラム コード	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
7.23 (月)	19:30 ～ 20:30	青梅市立 総合病院	1	73	学術講演会 「最終ステージに入ったC型肝炎治療 ～病診連携の重要性～」	青梅市立総合病院 消化器内科 診療局長 野口 修 先生
7.30 (月)	19:30 ～ 20:45	公立 福生病院	0.5 0.5	44 49	公立福生病院病診連携講演会 (1) 循環器内科 「抗不整脈薬における催不整脈作用 を認めた症例」 (2) リハビリテーション科 「リハビリテーション診断と評価」 － 脳卒中、末梢神経障害、えん下 障害など－	公立福生病院 循環器内科 医長 荒田 宙 先生 公立福生病院 リハビリテーション科 医長 小川 真司 先生
8.2 (木)	19:20 ～ 21:00	羽村市 生涯学習 センター ゆとろぎ	1	76	学術講演会 インスリン治療 UPDATE 【特別講演】 「珠玉の基礎インスリン、グラルギ ンを今こそ使いこなす」	東大和病院 糖尿病・内分泌科 糖尿病センター長 犬飼 浩一 先生
9.12 (水)	19:30 ～ 20:40	青梅市立 総合病院	1		学術講演会 【講演Ⅰ】 未定	北里大学病院 循環器内科 科長 阿古 潤哉 先生

~平成30年度「西多摩地域糖尿病医療連携検討会」の取り組み~

西多摩地域糖尿病医療連携検討会 座長 野本 正嗣

会員の先生方には平素より当検討会の活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成30年度の取り組みが、正式に決定致しましたのでご案内させていただきます。

今年度は“糖尿病性腎症重症化予防”に重点を置き、糖尿病専門医と腎臓病専門医による医療従事者向けの講演会と市民向けの講演会を企画致しました。

開催日近くなりましたら改めてご連絡を差し上げますので、是非多くの先生方の御出席を賜りますようお願い申し上げます。

(1) 西多摩医師会館における「糖尿病教室」、「個別栄養相談」の開催

毎月第4木曜日(8月、12月を除く)午後1時30分~3時 於:西多摩医師会館

平成30年4月26日「糖尿病とは」(高村先生)

5月31日「糖尿病の薬について」(大戸先生)

6月28日「糖尿病による腎臓の異常について」(木本先生)

7月26日「糖尿病の運動療法について」(小池先生)

9月27日「糖尿病とは」(大堀先生)

10月25日「糖尿病と歯や歯周病について」(吉成先生・原田先生)

11月22日「糖尿病と足ケア(神経障害)について」(杉田先生)

平成31年1月24日「糖尿病による眼の異常について」(鹿児島先生)

2月28日「糖尿病に心臓の異常について」(大友先生)

3月28日「まとめ」(柳田先生)・食事療法について(10回)土屋先生他

(2) 糖尿病と糖尿病予備群の方のための“糖尿病1日教室”

平成30年6月16日(土)午後2時~4時 於:公立福生病院

医師:柳田先生、管理栄養士:大野先生、トレーナー:小池先生

(3) 糖尿病と糖尿病予備群の方のための“糖尿病1日教室”

平成30年9月29日(土)午後2時~4時 於:公立阿伎留医療センター

医師:高村先生、管理栄養士:内田先生、トレーナー:小池先生

(4) 糖尿病と糖尿病予備群の方のための“糖尿病1日教室”

平成30年11月24日(土)午後2時~4時 於:西多摩医師会館

医師:足立先生、管理栄養士:中先生、トレーナー:小池先生

※(2)(3)(4)の内容は

①糖尿病について(医師40分)②食事療法(管理栄養士40分)③運動療法(トレーナー30分)

(5) 市民公開講座「糖尿病と上手く付き合うために パート 6」

平成 30 年 10 月 6 日 (土) 午後 2 時～4 時 於：青梅市立総合病院

- ・患者さんの体験談 (2 名で 40 分) と松田先生の講演 (質疑応答を含め 70 分)

(6) 症例検討会

平成 30 年 7 月 6 日 (金) 午後 7 時 45 分～9 時 15 分 於：公立福生病院

症例提示：大堀医院 大堀先生、青梅市立総合病院 向田先生

(7) 糖尿病セミナー

平成 31 年 3 月 6 日 (水) 午後 7 時 30 分～9 時 30 分 於：青梅市立総合病院

- ・医師：片山先生の講演 (50 分)、管理栄養士：土屋先生の講演 (40 分)

(8) 介護関連職種を対象とした糖尿病セミナー

平成 30 年 9 月 10 日 (月) 午後 7 時 30 分～9 時 30 分 於：青梅市立総合病院

- ・植木先生の講演 (50 分)、症例提示：菜の花訪問看護ステーション (10 分)
グループワーク (20 分)、
自己血糖測定及びインスリンデバイスの使用法についての実技 (30 分)

(9) 生活習慣病栄養指導外来の症例検討会

未 定

(10) 西多摩医師会報での症例提示

9・10 月号と 11・12 月号と 3・4 月号に掲載予定

(11) 糖尿病性腎症重症化予防のための講演会

平成 30 年 10 月予定 午後 7 時 30 分～9 時 30 分 於：公立福生病院

- ・公立福生病院 中林先生、渡邊妙子先生の講演

(12) 糖尿病性腎症重症化予防のための市民向け講演会

平成 30 年 12 月 6 日 (木) 午後 1 時 30 分～3 時 於：青梅市立総合病院

- ・青梅市立総合病院 木本先生・足立先生の講演

平成 30 年度 西多摩医師会定時社員総会 会長挨拶

総会へのご出席、平素よりご指導ご協力に感謝申し上げます。

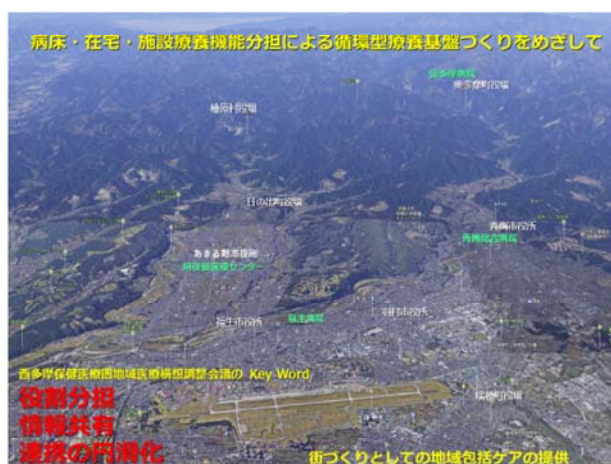
報告・審議事項で諸事お示ししますが、H29 年度事業は、概ね順調に遂行されたと存じます。昨年度の活動を振り返りつつ、今後の国や自治体の政策関連事項、本会活動の方向性や財務状況等につき、若干申し述べます。

ご承知の通り H26 年の「地域医療・介護総合確保推進法」制定、改正医療・国保・介護保険法が施行され、来年度を基点に付帯事業が次々と実施されています。

薬価引き下げを原資に、今回はわずかながらプラスの医療・介護報酬同時改定が実施されましたが、今後、消費増税が成されたとしても、将来の高齢者医療費増加見合いの医療費単価抑制基調は、厳しさを増すものと推測されています。



西多摩二次保健医療圏 兼 広域行政圏では人口減、社会生活インフラ(すなわち街機能の)収縮、入院医療総需要の低迷と高齢化が予測されており、その波は、いずれかかりつけ医群の会員にも及びます。格段の危機感に起ち、本会の責務である西多摩医療圏の将来像構築に向けて、国の諸政策と同期して高齢者の要介護予防や医療需要に応え、また全世代に渡る健診・日常診療提供も維持し、生活習慣病の発症・重症化予防に努め、各地区のご協力の下、西多摩を健康寿命を延伸できる、将来像ある地にするため、今こそ一層の力を注ぐべき時と認識しております。



地域医療構想調整会議は、事業者の自律的協調から、自らの病床機能の将来像を見出す場として既に三年度目に入りました。

これまで病床機能需要の把握、在宅医療と病床機能連携の課題抽出などから、圏域のキーワードとして役割分担・情報共有・連携の円滑化の三点が東京都からも投げかけられています。

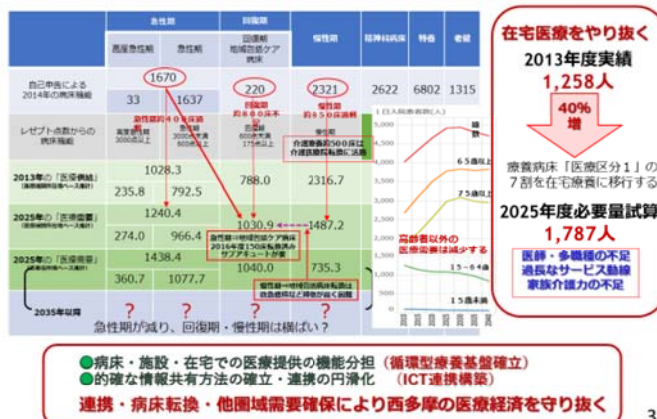
2025年以降入院需要は回復期増、急性期・慢性期減が見込まれ、現況では急性期から回復期の地域包括ケア病床への転換が四病院約200床で行われ、今後、慢性期病床から介護医療院への転換が行われるものと予測されます。しかし、各病院の設立・建替え・事業承継等の事情は様々故に、会員個々が将来に向け適正な経営構想を確立する道筋は多難です。

先日6月14日の調整会議では新公立病院改革プランに基づく四公立病院毎の方向性が示されました。後ほど、青梅総合病院原院長様からも立替えを踏まえたプランのご説明も頂きます。

また、現在療養病床が担う「医療区分1」の7割の方々の、在宅療養への移行をめざす目標設定から、2025年度、西多摩の訪問診療必要量試算は1,787人で、13年度実績の約42%増と見込まれその担い手が課題となります。

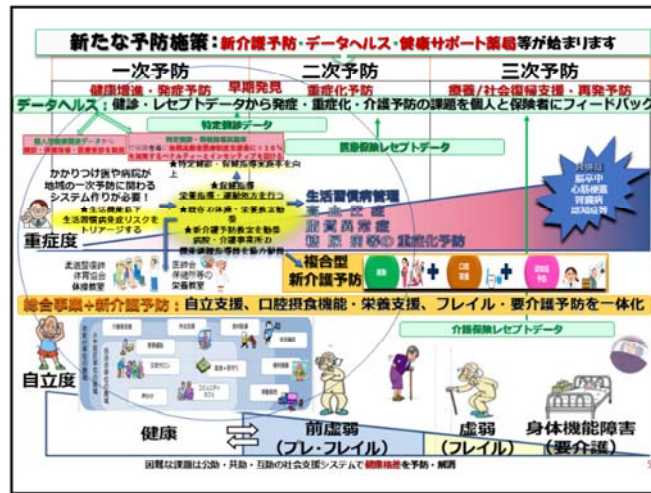
調整会議在宅ワーキング部会では、「在宅医療すなわち人生の最終段階の困難な医療」という固定的イメージを払拭し、困難事例は在宅専従医にお願いするとしても、自らできる事例はかかりつけの病院・診療所がその能力に応じて担い、病状に応じて地域包括ケア病床等での一時的な応急的医療やリハビリリコンディショニング、介護施設でのレスパイト等を繰り返し利用する、循環型の戦略的役割分担と連携の円滑化を強化しつつ、看取りにまで至るまでの、在宅療養基盤の裾野を広げることに活路を見出したいと考えます。

西多摩地域医療構想病床・在宅医療需要予測と課題



国保広域化を契機に、データヘルスとして、健康寿命延伸と将来の医療費適正化をアウトカムに、健診やレセプトデータの活用、特定健診・保健指導実施率の向上からの生活習慣病の発症重症化予防を図る事業が行われ、併せて、高齢者の低栄養・運動器機能低下・フレイル・認知症の発生、重症化予防を総合的に図る新介護予防事業が実施されています。

西多摩の特定健診実施率 40%・保健指導実施率 15%は国の達成目標は 70%/45%を大きく下回っています。通年化等の受診機会を増やすマンパワーや財源的格差があることが否めません。それが健康格差につながらないように、地域自治体と協議して行きたいと存じます。また、例えばかかりつけ医や病院が保健指導にかかわったり、会員が、国が求める運動・栄養管理指導メニューを示し、適正な生活習慣病管理加算等を算定するためのスキルアップやシステム作りに取り組みたいと存じます。



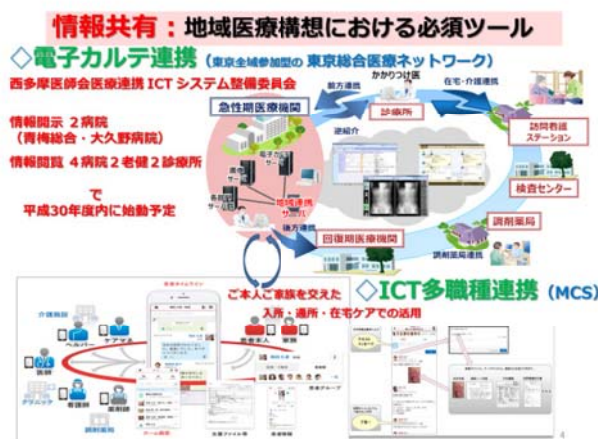
本年度より各市区町村が実施主体となる地域包括ケア構築に関する連携と現場作りを、推進するため行っている「五つのバリアフリー活動」は、これまでご案内の通りで、活動を積み重ねて参りますが、特に「街作りとしての地域包括ケア」を合言葉に、人材育成そして ICT 連携の確立について活動強化を図りたいと存じます。



すでに行われている、在宅医療・介護連携推進事業（ア）から（ク）までの施策協力の一環として、**本年年度**7月18日あきる野ルピアで第一回目を開催します。西多摩広域行政圏協議会との共催による「西多摩医療・介護関係者研修」を充実・継続してまいりたい所存です。

市町村が実施主体となり計画し基金を活用	基金：医療介護総合確保推進の新たな財政支援制度の活用
	<p>医療分基金（約90億）区市町村在宅医療推進事業</p> <p>①医療コーディネーター体制の整備 介護事業者及び市民からの様々な在宅医療に関する専門相談に対応できる体制を整備し、医療面における相談機能の強化を図る。</p> <p>②退院患者への医療・介護連携支援体制の整備 地域の支店に応じて、地域の医療・介護資源が連携して早期から退院支援を行う仕組みやルールを検討・策定し、退院患者の在宅療養生活への円滑な移行を実現できる体制を構築する。</p> <p>③在宅医と入院医療機関の連携促進 地域の入院医療機関が登録医療機関として、日頃から在宅医と情報共有を行い連携して、患者・家族が安心して在宅療養生活を継続することができる体制を構築する。</p>
	<p>介護分基金（約70億）在宅医療介護連携推進事業（介護保険地域支援事業）</p> <p>(ア)地域の医療・介護サービス資源の把握 リスト化・マップ化・相談可能日時</p> <p>(イ)在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討</p> <p>(ロ)切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進</p> <p>(ハ)医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <p>(ニ)在宅医療・介護連携に関する相談支援</p> <p>(ホ)医療・介護関係者の研修</p> <p>(ヘ)地域住民への普及啓発</p> <p>(コ)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</p>

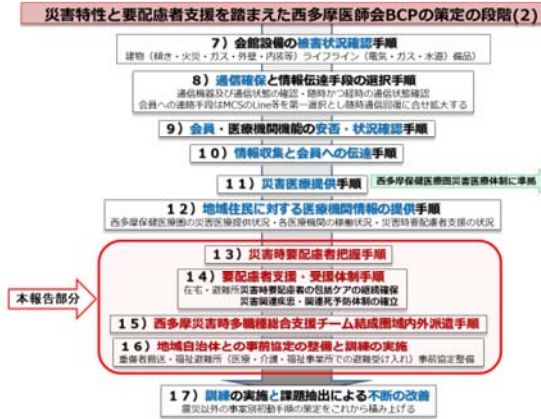
地域包括ケアの必須ツールである ICT 関連ですが、H28 年 5 月よりの多職種ネットワークの始動に続き、昨年 6 月から「医療連携 ICT システム整備委員会」を立ち上げ電子カルテ連携導入の取り組みを行い、西多摩でも本年度内に、東京都・都医師会・病院協会の協働事業である全般的「東京総合医療ネットワーク」に参加し、情報開示 2 病院、情報閲覧 4 病院 2 老健 2 診療所によるネットワークを始動します。導入費用が相当程度軽減されたシステムですので、稼働状況を見て、以降説明会などを開催し拡大を図る所存です。



2016 年には西多摩地域災害医療計画図上訓練に同期し、「西多摩医師会 BCP 計画」を策定しました。ご承知のように西多摩の災害特性は広域の山間や河川沿に、災害時要配慮者を擁する集落、慢性期・精神科病床・介護施設約 15,000 床が点在し、同時多発的孤立リスクが想定されることです。

立川断層型地震による甚大な被害を想定すると、医療・搬送・健康管理・生活支援の迅速な初動と、JMAT 等多職種受援への医師会の発信力が問われ、また広域の避難所・救護所・介護施設等で、災害関連死や重症化予防に当たる自前の支援チームの必要性を踏まえ、昨年来**災害時要配**

慮者支援・重傷者搬送体制の強化に取り組んでおり、西多摩の災害時多職種総合支援チーム結成のため東京都医師会 JMAT 研修等へ参加を推奨していますので、是非ご協力ください。



医師会法人会計は、100周年事業、新会館の減価償却開始などに伴うマイナス会計は脱し、プラスに転じていますが、H24年に旧社団法人から法改正に沿い、一般社団法人への移行法人となった際、本会の「公益目的支出計画」が策定されており、移行時の正味財産「公益目的財産額」約三億円を適正な公益目的事業に支出し19年間で零にするまでの計画を履行することとなっております。これはあくまで計画であり、今後の状況に応じて適正な修正は可能ですが、現在、計画より一千二百万円程度の公益目的向け支出に余剰があります。今後適正な公益目的事業を起こし、実施して行く必要があることを申し上げておきます。

5/18日に奥多摩で地域づくりとしての地域包括ケアに関するフォーラムを西多摩三師会で開催致しました。奥多摩から見れば、西多摩市街地の医療アクセスに多くの課題があります。日本の縮図である西多摩で、公立・民間の境なく、西多摩の住民、医療・介護提供者の、だれも置き去りにしない将来像が描ければと念願しております。

本日は慎重ご審議の程よろしくごお願い申し上げます。



平成 30 年度一般社団法人西多摩医師会定時社員総会報告

総務部

平成 30 年 6 月 19 日（火）午後 8 時よりフォレスト・イン昭和館で平成 30 年度定時社員総会が開催されました。玉木一弘会長による開会挨拶の後、仮議長に進藤晃先生が指名され、進藤仮議長により議長・副議長・議事録署名人の選任が行われました。議長には野本正嗣先生、副議長には奥村充先生、議事録署名人には木野村幸彦先生、星野誠先生が選任されました。物故会員に対する黙祷の後、野本議長の総会開会宣言により議事に入りました（資格審査：議場出席者 37 名、委任状提出者 98 名、合計 135 であり、会員総数 206 名の過半数 104 名以上のため総会は成立）。

報告事項

平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画 土田総務部長より説明

平成 30 年度収支予算 奥村経理部長より説明

審議事項

第 1 号議案：平成 29 年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録につき承認を求める件 承認

第 2 号議案：理事候補者を選任する件 承認

第 3 号議案：監事候補者を選任する件 承認

第 4 号議案：医道審議会委員候補者を選任する件 承認

野本議長の閉会宣言により定時社員総会は滞りなく終了し、引き続き平成 30 年度西多摩医師会互助会総会、平成 30 年西多摩医師政治連盟・東京都医師政治連盟西多摩支部総会が玉木一弘会長を議長として行われ、案件は全て承認されました。江本副会長による閉会挨拶後、青梅市立総合病院の原義人院長先生より新病院の基本設計概要について説明が行われました。

その後、場所を移して懇親会が開催されましたが、懇親会に先立って行われた新役員・新医道審議会委員による臨時理事会・臨時医道審議会において、会長には玉木一弘先生、副会長には石田信彦先生、江本浩先生、医道審議会委員長には原義人先生、医道審議会副委員長には森本晋先生が選定されました。

（文責：土田大介）

新入会員紹介

小机クリニック 黒澤 毅文

今回、西多摩医師会に入会させていただいた黒澤毅文（くろさわ たかふみ）と申します。出身地は東京都八王子市、出身大学は日本大学医学部です。母校で研修を行い、その後、大阪にある国立循環器病研究センターに移り循環器内科全般に加え、心臓移植・肺高血圧・心臓病理学など貴重な経験をしました。その後母校の大学院で研究および臨床・教育に携わりました。患者と向き合うために循環器のみならず、総合内科医としても日々努力をしています。

趣味は学生時代から登山やマラソン、マリンスポーツなど屋外で体を動かすことが好きです。

家族は妻、麻利子（まりこ）そして一卵性の双子です。長男、賢斗（けんと）・二男、秀斗（ひでと）です。双子はまだ 6 か月で、私も子育て奮闘中です。

家族共々よろしくお願ひします。



広報だより



子供の異物

あきる野市 まつもと耳鼻咽喉科 松本 学

以前咽頭異物（魚骨）について書いたが、今回は子供の異物についてのお話を。子供では外耳道や鼻腔の異物が多い。外耳道異物の60%、鼻腔異物は95%が子供との報告もある。

大人は昆虫や耳掃除中に誤って取れた綿棒の先端、イヤホンの先端などの外耳道異物ぐらいだが子供の場合はバラエティに富んでいる。海で耳に砂が入ったとか昆虫とか偶然の場合もあるが自分で入れる場合がほとんどである。

好奇心から入れるのだろうが、怒られるので絶対に自分で入れたとは言わない。診察時視診では何だかわからないものもあり、まさに「何が出るかな」である。

開業してから自分が経験した子供（小学生まで）の異物で統計を取ってみたところ、異物の種類としては耳・鼻ともに玩具が最も多く男の子はBB弾（球形の遊戯銃用の弾丸）、女の子はビーズ（アイロンビーズ・アクリルビーズ）が多かった。あと意外にいたのが鼻のレゴブロック異物で3件あった。1ピースが結構大きいのだが鼻に押し込みたくなるのだろう。大学にいたときだが汚い鼻汁が何か月も続くという子供で、鼻に入れたレゴブロックがアデノイドに埋没して感染を起こしていたなんて症例もあった。鼻は口に近いためグミやガム、飴などの菓子や豆類などの食べ物も多かった。特に豆類は形状的にも入れやすいので、大豆、枝豆、ピーナツ、グリーンピースなど様々で、土用の丑の日の翌日の鰻の骨と同様、節分の豆まき後の鼻内異物も毎年の恒例となった。

他には紙（ティッシュペーパー、新聞紙など）、シール、ビニール、異物の種、スポンジ、石、ストロー、発泡スチロール、ネックレスの金属の輪、鉛筆の芯、どんぐりなどの木の実、セロハンテープ、絆創膏、糸、粘土等々。複数個入れているつわものもいて、何でも押し込むものだ毎回笑ってしまう。大体は家で自分で入れるものが多いが、兄弟で上の子が面白半分の下の子の耳や鼻に入れてしまうこともある。

学校でというのも結構あり、これは消しゴムを耳や鼻に入れて取れなくなるのがほとんど。「自分で入れたの？」と尋ねると、最初は知らないうちに耳に入ったと言っていたのが、よくよく聞いてみると友達に入れられたというケースも。学校の場合いじめの問題もからんでくるので注意が必要だ。

外耳道や鼻腔の異物は緊急を要するものは少ないがボタン電池は別である。真っ黒い鼻汁と鼻血が出ると受診した5歳の子供。鼻汁と血液を吸引すると鼻内にボタン電池が入っていた。電池を摘出すると鼻中隔と下鼻甲介粘膜は黒く変性していたが、毎日洗浄に通わせ幸い鼻中隔穿孔や癒着は免れた。

ほとんどの子供が異物を摘出した後も自分では入れていないと最後まで言い張るが、決して目を合わせようとしなないのは後ろめたさも感じているのだろう。

連載企画



春の燕岳 (ツバクロダケ)

～春から初夏、そして冬 移りゆく季節～

羽村市 小作駅前クリニック 奥村 充

今年のゴールデンウィークの5月3日～5月4日は、北アルプスの燕岳（標高 2,763m）に行ってきました。燕岳の山頂付近は奇岩が多く、イルカの形をしたイルカ岩は有名です。山頂は360°の大展望で、槍ヶ岳・常念山脈等の素晴らしい眺めを楽しめます。登山道の合戦尾根は北アルプス三大急登の一つですが、途中4ヶ所に休憩ベンチが設置され、とても歩きやすく急登をあまり感じさせません。登山道の途中には、合戦小屋という売店があり、飲み物・軽食を売っています。夏はスイカも販売しています。

5月2日夜、東京を出発。燕岳の登山道に近い有明荘へ夜行バスで向いました。5月3日早朝、有明荘（標高 1,380m）に到着。到着時は、無常にも土砂降りでした。

今回の登山は、燕山荘（燕岳の山小屋）が主催する春山講習会で、参加者は20人くらい、ガイドが4人。集合場所の有明荘で、2日間の行程の説明があり、ガイドの紹介がありました。ガイドの一人は世界の8,000m峰14座のうち7座に登頂した登山家、もう一人は、夏はヨーロッパアルプスのガイドをしている人、もう一人は海外のトレッキング旅行会社の代表、もう一人は山小屋の支配人という豪華な顔ぶれでした。

大雨のため、予定より2時間くらい遅れて有明荘を出発、やがて雨は上がり晴れ間も出て初夏のような暑さになりました。登山口（標高 1,455m）を出発して最初の休憩場所の第1ベンチ、次の休憩場所の第2ベンチまで登山道に雪はほとんどありませんでした。その後、徐々に雪は増え、第3ベンチ・富士見ベンチを越え、合戦小屋（標高 2,350m）に到着すると一面の銀世界となりました。合戦小屋で昼食をとり、12本爪アイゼン（※1）を着け、ピッケル（※2）を持ち、いざ出陣。ここからが本番です。少し登ったところの斜面でピッケルの使い方・滑落制止（滑落時にピッケルを雪の斜面に刺して止める）の講習を受け、燕山荘へ向かい出発。雪の急斜面を登り燕山荘（標高 2,712m）に到着したのは、出発が遅れた影響で夕方になってしまいました。天気は回復し、周囲は雪山の大展望が広がっています。眼前には燕岳、その左には裏銀座の山々、振り返ると槍ヶ岳・さらにその左手には常念岳。雪山の絶景に感激!! 燕岳の登頂は、到着の遅れのため明日のお楽しみとなりました。雪山に沈む夕日を眺めた後、山小屋に入りました。燕山荘は人気の山小屋で、山小屋としては食事も良く、トイレも簡易水洗で快適です。

翌朝、小屋の外に出てみると、吹雪です。暦は5月です。何という天候・季節の急変でしょうか。昨日、すぐ目の前に見えていた燕岳は見えません。小屋に戻り朝食の後、出発の準備を済ませ、天気の回復を待ちましたが、吹雪はおさまりません。ガイド陣の判断で燕岳登頂は断念し、下山することになりました。残念。吹雪の中標高をさげると、雪はパラック程度になりました。解散場所の有明荘に戻った時には晴れ間がでていました。

5月だというのに初夏から真冬というめまぐるしい季節の変化・雪山の絶景を楽しんだ2日間でした。

- ※1 アイゼン 氷や雪の上を歩く際、滑り止めとして靴底に装着する金属製の爪が付いた登山用具。
- ※2 ピッケル 積雪期の登山で使う“つるはし”のような形の登山用具。杖の代わりとして使ったり、滑落時の滑落停止に使ったりする。

理事会報告

★ Information

4月定例理事会

平成30年4月24日(火)

西多摩医師会館

(出席者: 玉木・石田・江本・奥村・川上・佐藤・進藤・土田・馬場・古川・宮城・横田・中野)

【1】 報告事項

(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告

4/20 に開催された標記協議会の内容・伝達事項等について、資料により説明報告された

(2) 各部報告 特になし

(3) 地区会報告 (各地区理事):

青梅市

福生市 4/17 定例理事会開催

羽村市 4/17 臨時社員総会開催

あきる野市 4/16 例会開催

瑞穂町

日の出町

(4) その他報告: 特になし

【2】 報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により正会員2名・準会員1名の入会申請が紹介報告され可決承認された。また、7名の退会及び3件の異動届が紹介報告された

— 承認 —

(2) 役員改選に伴う「告示」(案)について

役員改選に伴う「告示」案が資料として紹介報告され、内容及び発信が承認された

— 承認 —

【3】 協議事項

(1) 東京都脳卒中医療連携推進事業に係る業務委託契約の締結について

(2) 東京都糖尿病医療連携推進事業に係る業務委託契約の締結について

東京都(委託者)より示された標記2つの契約書(案)及び内容に係る新旧対照表により変更点等が紹介・説明され、それぞれの契約締結について可決承認された

— 可決承認 —

【4】 その他

特になし

5月定例理事会 平成30年5月8日(火) 西多摩医師会館(会議室・応接室)

(出席者: 玉木・江本・奥村・栗原・佐藤・進藤・土田・馬場・古川・宮城・中野・横田)

【1】報告事項**(1) 各部報告**

総務部: ○「平成30年度多摩地区医師会懇話会」に係る第1報の紹介・報告
(11/10日 京王プラザホテル)

(2) 地区会報告(各地区理事):

青梅市
福生市
羽村市
あきる野市
瑞穂町
日の出町

(3) その他報告

○都医第8回地域包括ケア委員会(4/26 進藤晃委員)
○都医第8回病院委員会(4/27 進藤晃委員)
委員から提出された資料により上記委員会の内容等について確認された

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

— 承認 —

資料により正会員2名・準会員14名の入会申請が紹介報告され可決承認された。また、27名の退会及び4件の異動届が紹介報告された

【3】協議事項**(1) 西多摩地区救急業務連絡協議会への賛助金について**

標記協議会より賛助金拠出の依頼が紹介され、前年同様5万円を賛助することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(2) 青梅市立第5小学校学校医の推薦について(依頼)

資料により、青梅市教育委員会からの標記依頼内容が紹介され、青梅地区より江本浩先生の推薦が提案され可決承認された

— 可決承認 —

【4】その他**(1) 総務部からの依頼事項**

「平成29年度事業報告書」(案)が配布され、次回理事会までに内容等の確認が依頼された

5月定例理事会

平成30年5月22日(火)

西多摩医師会館

(出席者: 玉木・江本・奥村・川上・栗原・佐藤・進藤・土田・馬場・古川・宮城・横田・中野)

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

5/18に開催された標記協議会の内容・伝達事項等について、資料により説明報告された

(2) 各部報告 総務部: ○災害時の医療救護活動についての都医との協定書、覚書の確認・検討について(依頼)

標記都医からの依頼事項については、上記報告(依頼)ではなく、本日の協議事項とすることとした

(3) 地区会報告(各地区理事):

青梅市 5/17 特定健診の説明会開催

5/20 おうめ健康まつりで特別講演会開催

福生市 5/15 定例理事会開催

5/25 福生ブロック災害時救護所に係る検討会予定

6/5 定時総会開催予定

羽村市 5/15 定例理事会開催

6/5 定時総会開催予定

あきる野市 5/11 特定健診の説明会開催

5/21 例会開催

瑞穂町

日の出町

(4) その他報告:

○平成29事業年度に係る監事監査報告

5/16付の監査報告書(写し)により標記について説明・報告

○高齢者における結核発病患者の早期発見対策について

標記に係る日医からの通知内容等について紹介・報告

○平成30年度第1回地区医師会・区市町村在宅療養担当者連絡会の開催について

標記に係る都医からの通知を紹介・報告、進藤理事が出席不能な場合は事務局が出席

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員1名・準会員3名の入会申請が紹介され承認された

— 承認 —

(2) 「平成29年度事業報告書」について

標記報告書(案)につき総務担当理事より説明・報告の後(案)の通り承認された

— 承認 —

(3) 「平成29年度西多摩医師会決算報告書」について

標記報告書(案)につき経理担当理事より説明・報告の後(案)の通り承認された

— 承認 —

(4) 「公益目的支出計画実施報告書」について

29年度決算に基づく標記報告書(案)につき顧問会計事務所より説明・報告の後(案)の通り承認された

— 承認 —

(5) 「平成29年度西多摩医師会互助会会計収支計算書」について

標記計算書(案)につき経理担当理事より説明・報告の後(案)の通り承認された

— 承認 —

【3】協議事項

(1) 理事・監事・医道審議会委員候補者の選出について

役員等改選に伴う標記候補者一覧に基づき、定員・資格・選出の必要性等が確認・報告され承認された

— 可決承認 —

(2) 平成30年度定時社員総会の開催案内・資料等の発信について

平成30年度定時社員総会に係る会員への開催案内・送付資料等について(案)が示され、(案)の通り5/28の発信が可決承認された

— 可決承認 —

(3) 西多摩医師会共催名義の使用について(申請)

資料により、標記依頼内容が紹介・説明され、共催名義の使用について可決承認された

— 可決承認 —

(4) 災害時の医療救護活動についての東京都医師会と地区医師会との協定書、覚書の締結について(依頼)

標記依頼につき、資料2により協定書・覚書の内容等について説明・紹介され、締結することが可決承認された。なお、協定・覚書の内容から、救護班の編成方法等検討・取り決めを要する事項については今後の課題とする

— 可決承認 —

【4】その他

特になし

会員通知

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| ○会報5-6月号 | ○平成30年度第1期 西多摩医師会諸会費請求書 |
| ○宿日直表(青梅・福生・阿伎留) | ○会員名簿作成のお願い |
| ○学術講演会(6/13、6/20、6/25、6/27) | ○西多摩呼吸器懇話会(5/30) |
| ○産業研修会(7/28西多摩医師会) | ○第32回西多摩消化器疾患カンファレンス(7/3)症例募集 |
| ○ " (10/20順天堂大学医師会) | ○青梅心電図勉強会(7/4) |
| ○告示(西多摩医師会理事・監事・医道審議会委員) | |

- 麻しん注意喚起
- 平成30年度第1回東京JMAT研修会開催について(7/1)
- 平成30年度西多摩医師会定時社員総会開催通知
- 平成30年度児童虐待対応研修(6/26)
- 平成30年度医療法第25条第1項の規定に基づく有床診療所の立入検査
- 東京都感染症発生動向調査事業実施要綱の一部改正について
- 女性医師支援公開講演会
- 第30回日本医学会総会2019中部登録案内
- 「がん地域連携指導料」の施設基準届に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について平成30年7月1日算定)
- 介護医療院創設に伴う死亡診断書(死体検案書の記入方法の変更について)
- 東京都医療機関向け救急通訳サービスにおける対応言語の拡大等について
- 医療機関に対する不審電話の注意喚起の周知について
- 西多摩三師会平成30年度総会・講演会・意見交換会開催のご案内(7/14)
- 「健康長寿な地域づくりフォーラム」in 奥多摩
- 治療と仕事の両立支援に関する診療報酬の新設
- 平成30年度園医研修会(6/2)
- 東京都医師会会員名簿(平成29年度)
- 小児地域医療サポートチーム勉強会のご案内(5/10)
- 6月のレセプト提出について
- 納涼の夕べ開催のご案内(7/11)
- 平成30年度認知症サポート医養成研修(第1回東京分)
- 青梅市立総合病院緩和ケア研修会(7/7.8)
- 西多摩地域広域行政圏協議会研修会案内(7/18)
- 平成30年度かかりつけ医研修会(テレビ会議)受講申込
- 平成31年1月1日から心身障害者医療費助成制度(マル障)の対象に精神障害者保健福祉手帳1級を追加します
- (乳)子医療証をお持ちの方へ
10月1日は(乳)子医療証の更新日です
- (親)医療証をお持ちの方へ 平成30年8月診療分から一部負担の上限額が変わります
- (障)医療証をお持ちの方へ
9月1日は(障)受給者証の更新日です
- 肝疾患診療連携拠点病院医療従事者肝疾患研修会7/8
- 告示(日本医師会代議員(補欠))
- 青梅市立総合病院だより
- 平成30年度第1回検案業務サポート研修会(6/28)
- 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出について
- 海外渡航者や外国人患者を診療するための医療機関向け研修会(6/20)
- 平成30年度医療保険事務講習会
- 東京都難病相談・支援センター事業ののご案内(平成30年度)
- 医療事故調査制度研修会(7/12)
- 東京都感染症マニュアル2018を策定しました
- 厚生労働省「熱中症予防の普及啓発・注意喚起について
- 第69回関東甲信越静学校保健大会の開催について(8/23)
- 身元保証人等がないことのみを理由に医療機関において入院を拒否することについて
- 旧優性保護法に関連した資料の保全について
- 医療法人設立認可説明会(7/9)

医師会の動き

	平成30年6月21日現在	(医社) 幹仁会 福生クリニック
医療機関数	193 病院 30	院長 玉木 一弘 先生
	医院・診療所 163	
会員数	524 正会員 206	【特別講演】
	準会員 318	演題:「認知症診療のABC」
		演者:公益財団法人結核予防会
会議		複十字病院 認知症疾患医療センター長 飯塚 友道 先生
5月8日	定例理事会	16日 糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための糖尿病1日教室
16日	経理部会、監査会	①「糖尿病とは…最近の治療も含めて」
22日	定例理事会	柳田医院(糖尿病専門医) 柳田和弘 先生
6月12日	定例理事会	②「食事療法の基本～」
13日	第1回西多摩地域糖尿病医療連携検討会	管理栄養士 都立多摩総合医療センター 大野孝子 先生
19日	平成30年度西多摩医師会定時社員総会	③ 運動療法…楽しく安全で高齢者も
21日	広報部会(会報編集)	トレーナー(高村内科クリニック) 小池日登美 先生
26日	定例理事会	20日 学術講演会
講演会・その他		【一般演題①】
5月9日	保険整備会	演題:「脳神経外科とてんかん～若手脳外科医の立場から～」
17日	法律相談	演者:東京医科大学八王子医療センター 脳神経外科 助教 大塚 邦紀 先生
30日	西多摩呼吸器懇話会	【一般演題②】
	【読影会】	演題:「てんかん症例の成人期移行の取り組み～当院小児科の現状～」
	「胸部X線写真読影・解説」	演者:青梅市立総合病院 小児科 副部長 高橋 寛 先生
	青梅市立総合病院 呼吸器内科 部長 磯貝 進 先生	【特別講演】
	【特別講演】	演題:「てんかんの診断と治療 Up to date」
	演題:「免疫チェックポイント阻害剤による副作用」	演者:東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 脳神経機能外科学分野 教授 前原 健寿 先生
	演者:青梅市立総合病院 呼吸器内科 医長 矢澤 克昭 先生	21日 法律相談
31日	糖尿病教室	25日 学術講演会 西多摩消化器セミナー
	① 糖尿病の薬について(葉)	【プログラム1】
	② 糖質のとり方について考えましょう(栄)	演題:「NSAIDs潰瘍の現状」
6月7日	保険整備会	
13日	こころのバリアフリー関連活動学術講演会	
	認知症フォーラム in 西多摩	
	【基調講演】	
	演題:「認知症多職種チームによって切り開かれる世界」	
	～多職種チームによる認知症循環型療養基盤づくりをめざして～	
	演者:西多摩医師会会長	

演者:青梅市立総合病院 消化器内科
副部長 伊藤 ゆみ 先生

【プログラム2】

演題:「逆流性食道炎における最新の知見

～PPI抵抗性GERDをふまえて～」

演者:国立国際医療研究センター
病院 消化器内科
診療科長 秋山 純一 先生

27日 学術講演会

【特別講演1】

演題:「MDI・DPI吸入薬の解説と実践」

演者:公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院 薬剤部
係長 三井克巳 先生

【特別講演2】

演題:「COPDのトータルマネージメント」

演者:大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 講師
浅井一久 先生

28日 糖尿病教室

① 糖尿病による腎臓の異常について (医)

② たんぱく質のとり方について考えましょう (栄)

役員出張

5月17日 生活保護法指定医療機関指導立会

18日 地区医師会長連絡協議会

18日 東京都医師会選出日本医師会代議員協議会

19日 西多摩三師会「健康長寿な地域づくりフォーラム」in 奥多摩

21日 西多摩救急業務連絡協議会

25日 地域医療構想調整会議勉強会

26日 日野市医師会館完成祝賀会

6月14日 地区医師会・区市町村在宅療養担当者会議

14日 地域医療構想調整会議

15日 地区医師会長連絡協議会

22日 多摩医学会役員会

22日 東京都医師会代議員会

22日 関東信越連合会・日医代議員合同会議

23日 日本医師会定例代議員会

24日 日本医師会臨時代議員会

28日 第5回(福生ブロック)西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議

【新規開業】

氏名 仲野谷 祐嗣

施設名 なかのやUクリニック

所在地 あきる野市秋川1-7-17

出身校大学 日本大学 平成9年3月卒

【入会会員】(正会員)

氏名 小沼 裕寿

勤務先 (医社) 久遠会 友田クリニック

出身校大学 杏林大学 平成15年3月卒

氏名 木村 功

勤務先 (医社) 三秀会 青梅三慶病院

出身校大学 埼玉医科大学 昭和61年3月卒

氏名 斉藤 幹郎

勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院

出身校大学 順天堂大学 昭和51年3月卒

氏名 吉野 聡彦

勤務先 吉野 医院

出身校大学 東邦大学 平成5年3月卒

【退会会員】(正会員)

氏名 赤岩 重雄

勤務先 (医社) 三秀会 青梅三慶病院

氏名 寺尾 吉生 (準会員へ変更)

勤務先 (医社) 久遠会 友田クリニック

氏名 吉野 住雄 (準会員へ変更)

勤務先 吉野医院

【入会会員】(準会員)

氏名 今村 仁

勤務先 (医社) 仁成会 高木病院

出身校大学 福島県立医科大学
平成17年3月卒

氏名 小野 真由美

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 高知大学 平成17年3月卒

(24)

No. 516

氏名 加賀谷 知己雄
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 福島県立医科大学
平成22年3月卒

氏名 上妻 千明
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 東京医科大学 平成26年3月卒

氏名 古川 聡一
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 東京医科歯科大学
平成20年3月卒

氏名 目時 茂
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 埼玉医科大学 平成27年3月卒

氏名 伊藤 和彦
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 杏林大学 平成30年3月卒

氏名 榎本 郁子
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 昭和大学 平成25年3月卒

氏名 大木 庸子
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成26年3月卒

氏名 柏木 龍之介
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 杏林大学 平成30年3月卒

氏名 貞苅 利彦
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 杏林大学 平成18年3月卒

氏名 島田 篤
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 杏林大学 平成9年3月卒

氏名 菅原 大樹
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成27年3月卒

氏名 葉山 譲
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成20年3月卒

氏名 松野 成伸
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 信州大学 平成18年3月卒

氏名 福島 啓太
勤務先 公立福生病院
出身校大学 慶應義塾大学 平成29年3月卒

氏名 利根 修
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 東京医科歯科大学
平成54年3月卒

氏名 町田 健
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
出身校大学 昭和大学 平成8年3月卒

氏名 村内 重夫
勤務先 (医社) 崎陽会 日の出ヶ丘病院
出身校大学 弘前大学 昭和63年3月卒

氏名 村田 保貴
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成19年3月卒

【退会会員】(準会員)

氏名 横田 伸司
勤務先 よこた小児科

氏名 立花 志成
勤務先 檜原診療所

氏名 江嶋 正博
勤務先 (医社) 倭林会 武蔵野台病院

氏名 日比 慎太郎
勤務先 (医財) 岩尾会 東京海道病院

氏名 水上 忠臣
勤務先 (医財) 岩尾会 東京海道病院

氏名 鹿野 晃
勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院

氏名 飯高 さゆり
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 大野 孝則
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 河本 亮介
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 河野 義春
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 小山 智光
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 小山 雄太郎
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 狭川 玲
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 柴田 勇
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 鈴木 さやか
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 関口 芳弘
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 平 直記
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 田村 皓子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 近井 隼人
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 土屋 香
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 西澤 麻衣子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 原 悠
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 堀内 弘司
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 山際 健
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 山本 訓史
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 梶原 勲
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 金子 真大
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 木下 豪紀
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 杉木 司
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 田中 優也
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 田邊 聡美
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 橋本 真
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 森 尚子
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 江上 洋子
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 佐藤 安男
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 舘脇 李絵
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 仲野谷 祐嗣
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 牧野 香織
勤務先 公立阿伎留医療センター

【管理者変更】

(医社) 久遠会 友田クリニック

(新) 小沼 裕寿

(旧) 寺尾 吉生

(医社) 三秀会 青梅三慶病院
 (新) 木村 功
 (旧) 赤岩 重雄

【会員種別変更】

(医社) 久遠会 友田クリニック 寺尾 吉生
 (新) 準会員
 (旧) 正会員

(医財) 良心会 青梅成木台病院
 (新) 斉藤 幹郎
 (旧) 小林 暉佳

吉野医院 吉野 住雄
 (新) 準会員
 (旧) 正会員

【開設者・管理者変更】

吉野医院
 (新) 吉野 住雄
 (旧) 吉野 聰彦



事務局より **お知らせ**

保険請求書類提出

平成30年 8月 (7月診療分) **8月8日 (水)** 正午迄
 平成30年 9月 (8月診療分) **9月7日 (金)** 正午迄

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を
 毎月**第3木曜日**午後2時より実施いたします。
 お気軽にご相談ください。

◎相談日 **7月19日 (木)**
 9月20日 (木)

◎場 所 西多摩医師会館

◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
 刑事に関するどのようなものでも結構です。

◎相談料 無料 (但し相談を超える場合は別途)

◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。

(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。



あ と が き



2018年5月、第71回カンヌ国際映画祭において、是枝裕和監督の「万引き家族」が最高賞のパルムドールを受賞されました。日本人のパルムドール受賞は今村昌平監督の「うなぎ」以来21年ぶりの快挙です。話題作ですので、既にご覧になられた方もおられると思いますが、話題の映画をすぐに観に行くタイプではないのですが、なんとなく題名が気になり観に行きました。

社会への問題提起を目的としたわけではないとのことですが、家族について、深く考えさせられました。題名から想像できるように、反社会的な生き方をしている家族ですが、そこに深く入り込んでいくことによって、見え方が変わり、そこにある人間らしさや人の絆が見えたりします。

生と死は表裏一体で、死を身近に感じたときにこそ生を強く意識するように、家族も離散や崩壊の危機が身近に存在するときこそ、その存在を強く意識するものなのかもしれま

せん。

映画の内容にはあまり触れない方が良く
 と思いますが、社会の底辺ともいえる生活の中
 で、お互いを気遣い、肩を寄せ合って生きる
 一家の姿には、貧困による苦しさや、社会へ
 の不平でなく、笑顔の絶えない家庭や、絆の
 強さなど、家族にとって何よりも人切なものを
 見た気がしました。いつ何が起きるかわか
 らない不安感の中にこそ、強い家族の絆が存
 在するのかもしれません。私も思春期の子供
 をかかえ、家族とは・・・、としばし考えて
 しまいました。ご家族の絆、人と人との絆に
 ついて考えたい方にお勧めです。

進藤医院 進藤幸雄

表紙のことば



『多摩の夕暮』

仕事が終わって外に出たら
 見事な夕焼け、急ぎカメラを
 とり多摩の山並みを入れるの
 がやっとのチャンスであった。

松原貞一



一般社団法人 西多摩医師会 平成30年7月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 古川 朋靖
 栗原 教光 土田 大介 鹿兒島武志 奥村 充 神尾 重則 近藤 之暢
 菊池 孝 進藤 幸雄 前田 暢彦 松崎 潤 松本 学

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

健康の通信簿

健康ってどうやって調べるんだろう？

宿題やテストではわからないよね。

体の通信簿ってあるのかな？

成績悪いとおこられちゃう？

パパやママの成績がいいとうれしいな。

臨床検査事業
臨床検査/遺伝子検査/予防医学/治験検査

医療情報システム事業
電子カルテシステム販売・保守

関連事業
食品衛生検査/環境検査/歯科検査

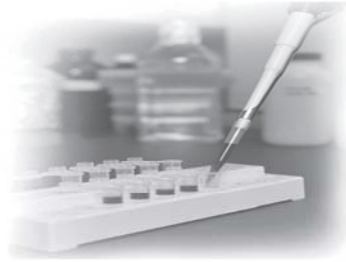
臨床検査は健康な未来への道しるべ
バイオシステムで医療に貢献します
株式会社ビー・エム・エル
BML http://www.bml.co.jp/

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3 TEL.03-3350-0111 (代表) FAX.03-3350-1180
 BML総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1 TEL.049-232-3131 (代表) FAX.049-232-3132

生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ
地域に根ざした検査所として歩んできました。
高度な技術と最新の設備で地域医療の
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所



株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL; 04-2964-2621 FAX; 04-2964-2621

URL; <http://www.e-musashi.co.jp>



お客様の幸せづくり
たましん

多摩の
未来を創る
たまたまばこ



RISURU

©2003, 2018 SANRIO CO.,LTD.
APPROVAL NO. G583590

リスルはたましんのオリジナルキャラクターです



Makes your happy life.

たましんは、
お客様の幸せとともに
歩み続けます。



多摩信用金庫 <http://www.tamashin.jp>